学校番号	３０７

令和２年度　国語科

教科	国語科	科目	国語総合	単位数	４単位	年次	１年次
使用教科書	「改訂版　高等学校　国語総合」　（数研出版）						
副教材等	「図でつかむ　リード現代文１」（啓隆社）「体系古典文法」（数研出版）「体系古典文法　準拠ノート」（数研出版）「新訂国語図説」（京都書房）「力をつける　古文　ステップ１」（数研出版）「音と形で覚える　漢字の演習　改訂版」（明治書院）「高校国語入門　基本」（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・国語総合では、様々な文章に親しんで「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・授業では、話し合いや文章記述、発表などの場もありますが、自ら学ぶ姿勢を持って参加してください。
・古典では、有名な古文や漢文の作品に親しむとともに、語彙力や文法の知識をしっかりと身に付けてください。
・予習として、必ず本文を読んでおきましょう。また、授業後は振り返りをしっかり行いましょう。
・授業を受けて疑問が出てきた場合は、早めに質問してください。
・課題・提出物は期限内に提出しましょう。定期考査の際は、計画を立てて臨んでください。

２　学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選び、思いや考えを適切に表現することができる。
・文章の内容や構成、及び登場人物の心情を的確に理解することができる。
・人間関係において互いの立場や考えを尊重し、相互理解を深め、適切に意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・伝統的な言語文化に対する関心を深め、国語を尊重する態度を育んでいる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）	記述の確認及び分析 （ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	随想の内容を理解する	【近代以降】 教材: 「わたしであり、あなたでなくちゃ」	○			◎	○	a:随想という文章に親しもうとし、表現の技法や語句の使い方など書き手の工夫をとらえて文章を読もうとしている。 d:随想という文章に親しみ、表現の技法や語句の使い方など書き手の工夫をとらえて文章を読んでいる。 e:主な常用漢字の音訓の正しい使い方を身につけている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	小説の内容を理解するⅠ	【近代以降】 教材: 「羅生門」	○			◎	○	a:文章に描かれている情景を、本文から逸脱しないように読み、人物の言動や状況及び心理を捉える手掛かりとしようとしている。 d:文章に描かれてる情景を、本文から逸脱しないように読み、人物の言動や状況及び心理を捉える手がかりとしている。 e: 場面の転換及び人物の心情を表す語句について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	評論の内容を理解するⅠ	【近代以降】 教材: 「水の東西」	○			◎	○	a:文章の組み立てや骨組みを的確に捉えようとしており、「水」に対する西洋と日本の比較から日本文化の特質について理解を深めようとしている。 d:文章の組み立てや骨組みを的確に捉えており、「水」に対する西洋と日本の比較から日本文化の特質について理解を深めている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

	古文入門	【古典】 教材: 『宇治拾遺物語』「児のそら寝」 『今昔物語集』「検非違使忠明」 文法等…歴史的仮名遣い、文語の動詞の基礎	○			◎	○	a:歴史的仮名遣いや古語・文法に注意して内容を読み取ろうとしている。 d:歴史的仮名遣いや古語・文法に注意して内容を読み取っている。 e:歴史的仮名遣いと動詞について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
1学期	文法から解釈へ	【古典】 教材:『徒然草』「つれづれなるままに」「丹波に出雲という所あり」 文法等・・・文語の形容詞・形容動詞の基礎、係り結び	○			◎	○	a:語意をとらえて筆者のものの見方や登場人物の行動や心情を理解し、自身の考え方を深めようとしている。 d:語意をとらえて筆者のものの見方や登場人物の行動や心情を理解し、自身の考え方を深めている。 e:用言と係り結びについて理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
2学期	現代詩を味わう	【近代以降】 教材: 詩「I was born」	○			◎	○	a:詩の表現や構成を確かめ、情景や心情が効果的に表現できているかどうかを考察しようとしている。 d:詩の表現や構成を確かめ、情景や心情が効果的に表現できているかどうかを考察している。 e:詩の表現形式や修辞について、理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認及び定期考査

	評論の内容を理解するⅡ	【近代以降】 教材: 「わらしべ長者の経済学」 「ネットが崩す公私の境」	○			◎	○	a:文章の構成や展開を確かめ、筆者の述べようとしていることを理解しようとしている。 d:文章の構成や展開を確かめ、筆者の述べようとしていることを理解している。 e:本文に関する今日的な用語について理解し、社会問題を考察するための基礎的な知識を身につけている。また、読むことに必要な文章の構成を把握する方法を身につけている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	小説の内容を理解するⅡ	【近代以降】 教材: 「旅する本」	○			◎	○	a:人物・情景・心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、象徴・予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。また、主人公の心情とその変化を理解しようとしている。 d:人物・情景・心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、象徴・予兆などに果たしている効果に気付いている。また、主人公の心情とその変化を理解している。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
2学期	和歌の基礎を学ぶ	【古典】 教材:『古今和歌集』	○			◎	○	a:和歌の表現に触れ、作者の心情を理解しようとしている。 d:和歌の表現に触れ、作者の心情を理解しようとしている。 e:和歌の修辞法や基礎知識を理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

2学期	古文の物語を読む	【古典】 教材:『伊勢物語』「芥川」 文法等･･･係り結び、助動詞の基礎(頻出の助動詞を中心に)	○			◎	○	a:文章に即して登場人物の心理を読み取り、歌を通して歌物語の特徴を理解しようとしている。 d:文章に即して登場人物の心理を読み取り、歌を通して歌物語の特徴を理解しようとしている。 e:古文の読解に役立つ文語の用言及び頻出の助動詞について身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	漢文入門	【漢文】 教材: ワークシート「漢文の基礎」 故事成語「漁夫の利」	○			◎	○	a:漢文を日本語として読む工夫を理解しようとしている。また、訓読のきまりに従って文章の内容を正確に読み取ろうとしている。 d: 漢文を日本語として読む工夫を理解している。また、訓読のきまりに従って文章の内容を正確に読み取っている。 e:漢文訓読に役立つ訓読のきまりを理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	漢詩を味わう	【漢文】 教材: 絶句、律詩	○			◎	○	a:日本でも愛好されてきた漢詩の名作を、関心を持って味わおうとしている。また、それぞれの詩の表現を理解しようとしている。 d: それぞれの詩の表現を理解している。 e:絶句･律詩の基本的なきまりについて理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

	古文の日記を読む	【古典】 教材: 『土佐日記』「門出」	○			◎	○	a:表現や当時の風習などを踏まえつつ、作者の心情を理解しようとしている。 d:表現や当時の風習などを踏まえつつ、作者の心情を理解している。 e:作品の文学的意義及び和歌・俳諧の知識を理解するとともに、読解に必要な助動詞の知識を身につけている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
3学期	俳句・短歌を味わう	【近代以降】 教材: 教科書に掲載された俳句と短歌	○			◎	○	a:俳句・短歌に描かれている情景や心情をとらえ、ことばやリズムの美しさに気付こうとしている。 d:俳句・短歌に描かれている情景や心情を理解し、ことばやリズムの美しさに気付いている。 e:季語や切れ字、韻律や句切れなどの俳句・短歌の基礎的な知識を理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認及び定期考査
	俳句・短歌を創作し、相互批評する	【近代以降】 教材:「俳句・短歌を作ろう」「好きな俳句・短歌を選ぼう」 ワークシート	○	◎	◎	◎	○	a:身につけた知識をふまえて俳句・短歌を作り、他者の作品を味わおうとしている。 b:理由を示して論理的に話すとともに、他者の批評を踏まえて自らの考えを相対化している。 c:身につけた知識をふまえて俳句・短歌を創作している。 d:他者の作品を読み、味わっている。 e:俳句・短歌の知識を理解するとともに、話すこと・聞くことにおける言語運用が、個人や社会の中で果たしている役割について理解する。	a、b、e: 行動の観察と確認 c、d: 行動の観察及び記述の確認

	評論の内容を理解するⅢ	【近代以降】 教材: 「宇宙から学ぶ」	○			◎	○	a:「適応」「多様性」というキーワードを用いて、筆者の主張を理解しようとしている。 d:「適応」「多様性」というキーワードを用いて、筆者の主張を理解している。 e:読むことに必要な文章の組立や概念を理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び記述の点検
	軍記物語を読む	【古典】 教材: 『平家物語』「木曾の最期」 文法等…助動詞	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを、どうして筆者がこのように対比的に描いているのかをとらえ、その効果について考えようとしている。 d: 人物、情景、心情などを、どうして筆者がこのように対比的に描いているのかをとらえ、その効果について考えている。 e:文語の決まり（音便・敬語）を理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。